

観光情報通信セミナー 【アンケート集約結果】

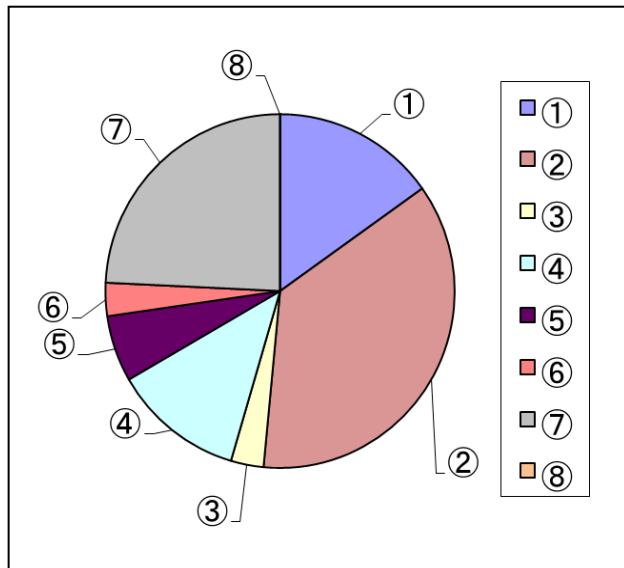
- 日時 平成27年3月18日(水) 14:00~17:00
- 会場 とりぎん文化会館(鳥取県民文化会館) 第2会議室
- 主催 総務省中国総合通信局、鳥取県、鳥取市、中国情報通信懇談会
- 後援 公益社団法人鳥取県観光連盟
- 参加者数/アンケート回収数 52名/31名 (回収率60%)

1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ①中国情報通信懇談会 ②中国総合通信局 ③鳥取県 ④鳥取市
- ⑤公益社団法人鳥取県観光連盟 ⑥新聞等 ⑦上司・同僚・知人等 ⑧その他

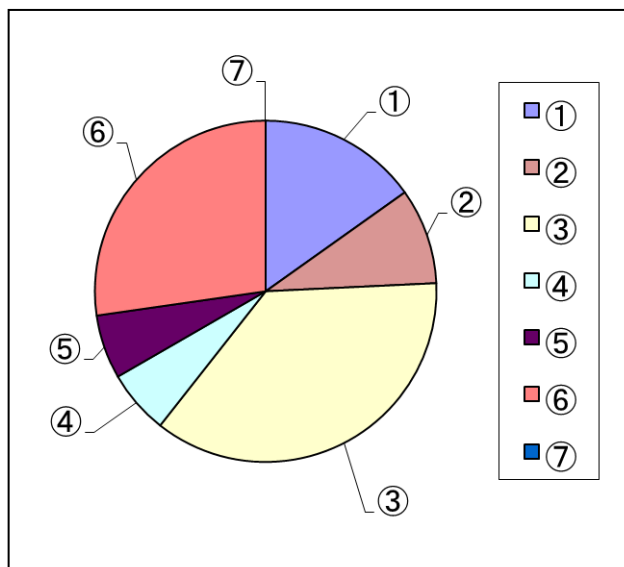
番号	回答数
①	5
②	12
③	1
④	4
⑤	2
⑥	1
⑦	8
⑧	0
計	33



どのような方法で

- ①HP ②メールマガジン ③メール ④記事等 ⑤FAX ⑥直接聞いて ⑦その他

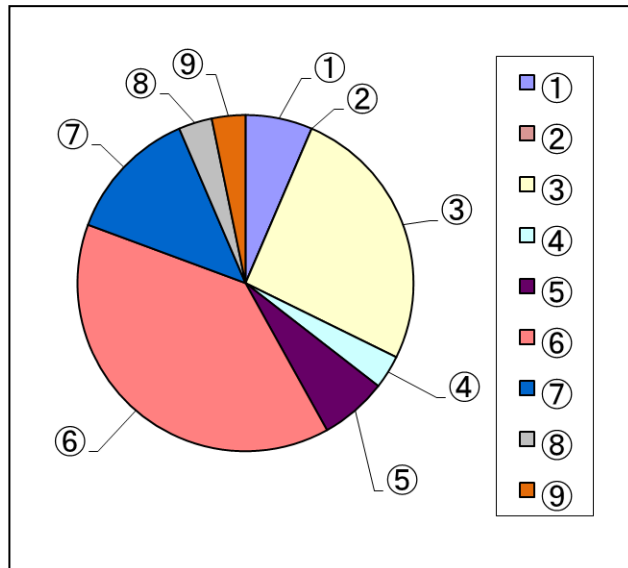
番号	回答数
①	5
②	3
③	12
④	2
⑤	2
⑥	9
⑦	0
計	33



2 貴方が所属する企業・団体等の主な分類を一つだけ○で囲んでください。

- ①製造・販売 ②エネルギー ③情報通信 ④放送 ⑤サービス ⑥公務
 ⑦観光業 ⑧その他の事業 ⑨個人

番号	回答数
①	2
②	0
③	8
④	1
⑤	2
⑥	12
⑦	4
⑧	1
⑨	1
計	31



3 本セミナー各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

- (1) 基調講演 演題 情報コンテンツを活用した観光振興
 講師 奈良県立大学 地域創造学部 教授 麻生 憲一 氏

大変参考になった	6	興味がわく話だった	8
参考になった	21	興味がわかない話だった	2
あまり参考にならなかった	2	おもしろかった	6
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. ニューツーリズムに向けた地域の役割と発想の重要性。
2. ICTの活用について、もっと財政的に現実的に効果のありそうな事例をいただきたかった。
3. 新しい情報をたくさん聞くことができた。ありがとうございました。
4. アニメの関係地を巡るツアー等は、地域住民の理解が重要だと思われる。トラブルになるかどうかは、事前に理解を得られるか、地域が関わる気があるのかが問題になると思う（竹原市等はアニメやマッサン等の手札があるのに、使い方が非常に下手だと思う。）が、地域はどこまで関わるべきでしょうか？
5. エコツーリズムは白川郷に見られるように、観光地化してしまうことで、逆に魅力を失う事もあるが、明日香村ではどのように考え、対応しているのか、聞いてみたかった。
6. バーチャル画像の例が参考となりました。
7. 明日香村の例を出された中で、地域経営との関係をもう少し知りたかった。何が、その土地で有効になるのか、考え方の参考にできるような話が聞きたかったと思います。
8. コンテンツツーリズムで「アイリス」を例に出されましたが、鳥取県では翌年同じく韓国ドラマ「アテナ」のロケ地となりました。但し、放映後の時を同じくして東北の震災があり、インバウンドは一気に冷え込みました。鳥取県中部にある湯梨浜町ではICT活用に関して観光協会ではかなり進めているつもりです。但し、今回の説明にあった「明日香村」のような事例は進めたくても予算が厳しい状況です。
9. 観光について素人なみの知識しかありませんでしたが、概要を理解できたと思います。

10. 新しい観光の潮流を知り得た。観光について近年感じていた事が整理できたと思う。
11. 時間配分が悪い。
12. 新しい観光の見方、様々な事が観光になる点等、参考になりました。
13. 究極の観光は、体験型の提供と『おもてなし』でリピーターを生む事だと確認した。
14. 実際のデモはよかった。
15. 実際の観光情報アプリ例があり参考になりました。
16. 観光の変容を体系的に理解できた。
17. バーチャル飛鳥京はおもしろい。
18. インバウンド観光戦略は参考になった（田舎に観光客を呼び込む）。

(2) 事例紹介 1 演題 Wi-Fiによる都市の魅力発信戦略

～福岡市公衆無線LANサービス Fukuoka City Wi-Fi の取り組み～

講師 福岡市 市長室広報戦略室広報課 主査 花田 絵里 氏

大変参考になった	10	興味がわく話だった	10
参考になった	17	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	2	おもしろかった	4
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	2

1. 民間企業とのタイアップの方法がもう少し知りたかった。
2. 他都市のWi-Fiの運用例を詳しく聞くことができよかった。
3. 参考になる内容であったと思います。ぜひ今後の業務に活かしていきたいと思いました。
4. 公衆無線LANの難しさは、セキュリティと利便性のバランスと需要予想にあると思います。その点、観光をメインとしてその他の機能を補助とした運用は正解だと思います。今後は課題にもありました、リテラシーの向上をどうするかが、認知度向上に伴って出てくる問題だと思います。
5. Wi-Fiが拡大する中で、情報発信がキーになると考えています。今後の参考にさせていただきます。
6. 今回のセミナーが観光というキーワードなので、話がなかったですが、防災の観点での利用回数等の情報が知りたいです。Wi-Fiの活用が増える中で、防災のキーワードは外せないと考えています。
7. 市長は導入時、どの程度システムに対する知識があったのだろうか？他地域と比べてインバウンドが非常に進んでいる中（多言語対応含め）、何故、認証の外国人率がこんなに低いのだろうか？初期投資はどの位？小さな町でも導入は可能か？運営は可能か？
8. 発表に慣れていない方の発表だったように感じた。少し分かりにくい。
9. 東京オリンピックまでに日本全国、均一に網羅されたらよい。
10. 現在、屋外型のWi-Fi整備を検討している。しかし、費用対効果の面で何千万円も掛かるものを外国人向けだけへの事業とならないよう、多面的に、しかも、継続性を持った取り組みとしたいと考えている。

(3) 事例紹介 2 演題 世界の「言葉の壁」をなくす多言語音声翻訳技術

講師 独立行政法人 情報通信研究機構

先進的音声翻訳研究開発推進センター 統括 内元 清貴 氏

大変参考になった	13	興味がわく話だった	16
参考になった	11	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	0	おもしろかった	8
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	1

1. 音声変換技術も実用化レベルになってきたことが理解できた。
2. 幅広い分野で検討したい。
3. この数年で、音声認識、音声合成の技術が飛躍的に進歩していることがわかって面白かった。
4. もっと便利に使えるようになってほしい。
5. とてもすばらしいシステムであったと思います。活用の場を思い描くことができました。
6. フィーチャーフォンでも利用可能にはならないでしょうか。
7. 複数言語の同時翻訳やメール・通話との連動についても期待したいです。
8. 翻訳という概念が少し変わりました。障がい者の方への情報連絡という話が課題として考えていました。本日の事例を参考に考えていきたい。
9. 災害がキーになっていましたが、生活の中に取り入れる技術であると感じました。
10. 多言語翻訳システムの開発道のりや仕組みより、導入に対する説明や投資額、サービスイメージの方を詳しくしてほしい。
11. 専門的な説明、意味無い。音声入出力のデモ（直接）があれば。
12. 内容、発表共にすばらしかった。
13. 多言語化の対応性がここまで進化している。
14. 実際のデモがよかった。
15. 観光を含めて広範囲で活用できる、すばらしい技術だと思いました。特に行政に対して、もっとPRした方がよいとも思いました。
16. Voice Tra 4Uの精度を一層よいものにさせていただきますよう、お願いいたします。

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. 持ち歩ける端末が増えてきた中、街中で困ったことが電波を介して解決できると良い。そのために、様々なサービスを提供できるように各々が動けると良い。
2. 観光PRの上手な市町の実態や利用方法を聞きたいです。
3. 非接触型充電の拡大について。
4. 公共LTEの動向
5. 小さな町でも導入可能なシステム（今回のようなものの応用として）
6. 事業者だけでなく、公共の用に供するサービスへの利用に期待します。
7. 都市部と地方では、ICTの活用レベルや方向性が異なるように感じます。インバウンドのためのICT普及といっても、地方ではまだ外国人観光客に投資するほどのレベルに至っていません。地方ならではの技術活用例があれば参考にさせていただきたいです。
8. iBeaconを活用した観光支援、見守りサービス

5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. G空間についての講演。
2. 非接触型充電
3. 今回のセミナーは参加して良かったと思います。今後の検討材料にしたいと思います。
4. NECさんの「自治体業務におけるWi-Fi利活用のガイドブック」について詳しく説明してほしい。併せて、NTTBPさんのWi-Fi利活用についても事例をお聞きしたい。